

Special Interview

「視点」茂木友三郎 キンコーマン取締役名誉会長 取締役会議長  
人材派遣を始めて40年 動き始めた「働き方改革」  
南部靖之 パナグループ代表

特集  
AIが変える仕事の現場

働き方革命



南部靖之・パナグループ代表

「AI開発には金よりもアイデア」  
小林雅一 KDDI総研リサーチフェロー

「AIは転職希望者も企業もマッチングの幅を広げる可能性がある」  
峯尾太郎 インテリジテンス社長

「ホワイトカラーのオートメーション化で生産性向上を」  
大角暢之 RPAテクノロジーズ社長

「AI活用で人間本来の知的作業の時間が生まれる」  
岩本隆 慶応義塾大学大学院 経営管理研究科特任教授

手書き文字読取サービスでワークスタイルを変革  
永田純一郎 AI Inside マーケティング社長

「AIで人生をもっと楽しくする」

渡久地 択 AI Inside 社長

内部不正対策に加え外部脅威対策で未知の脅威にも対応  
河之口達也 エムオーテックス社長

「3つの流通改革で保険契約の在り方を変えたい」  
齋藤正秀 ファイナンシャル・エージェンシー社長

情報通信サービス分野でナンバーワンサービス提供者に  
佐野健一 ビジョン社長

「マーケティングを一変させるAIに大いなる期待感を抱いています」  
富田直人 イノベーション社長

News Report

ポケモンGOの恩恵はこれから  
2年ぶりに黒字を回復 日本マクドナルドの好決算  
日本電産が過去最大の買収 売上高2兆円への足掛かり  
5大商社の第1四半期決算 笑ったのはどこだ  
追加緩和か縮小か  
日銀の「総括的検証」の真意をめぐり市場は大混乱  
金融庁に脅える銀行、証券  
新金融行政方針は 投信、保険の規制強化か？  
比較優位はどこに？ 円高で赤字続出  
体力強化進まぬ鉄鋼メーカー

老舗繊維メーカーとしての技術力を生かし環境建材を製造する  
中山賢一 小松精練会長

フィンテック時代到来で高まる「情報の価値」  
トムソンロイター・マーケット  
在日外国人を活用した多言語対応のウェブサービス  
大條充能 ゼロイン社長

日本の補聴器市場にIoTで新風を吹き込む  
オリビエ・カーノソン nessa Japan CEO

政界、スポーツ界の最重鎮が本音で語る「わが人生」  
森喜朗×徳川家広 前編

東京オリビエ・カーノソン 徳川宗家19代目  
組織委員会会長

丹羽宇一郎×牛島信 前編  
伊藤忠商事元社長 弁護士、作家

「知」の伝道者 ゲスト 林野宏 後編  
クレディセゾン社長

企業統治の正鵠

「公」を生きる

Company Report

Topic Interview

連載

フエイス 伊井田栄吉  
ワールドホテルディングス会長兼社長  
深読み経済ニュース解説 永濱利廣 62

WORLD INSIGHT 広木隆 64  
グローバルニュースの深層 佐藤優 66  
ニューヨークレポート 津山恵子 68

永田町ウオッチング 山田厚俊 72  
霞が関番記者レポート 74  
世界基準の笑顔をつくる Dr.龍のデンタルセミナー 95

カオス(混沌)の国 インド市場を知る 帝羽ニルマ純子 98  
実録！関西の勇士たち 真島弘 100  
年収1億円の流儀 江上治 102

シリーズ 温故知新  
第57回「存在意義」いかに驚きや喜びを感じてもらえるか  
岩田聡 任天堂社長(当時)  
燎々トーク  
ゲスト 蟹瀬誠一 ジャーナリスト 後編 124

スポーツインサイドアウト 二宮清純 104  
中村龍明の ミスショット110番 Dr.加藤俊徳の脳番地塾 108 106

PHOTO REPORT 日本元気プロジェクト2016 スーパーエネルギー!! 開催 第4回「食の新潟国際賞」受賞者決まる 61

Close Up ベルーフ、ホテルアルバム炭酸泉 タブレット、大勇アリーズ、東京スポーツレクリエーション 専門学校 70

経済界倶楽部7月例会 HEADLINE イノベーターズ 110 94  
「新時代を創る経営者たち」 企業EYE 114 113  
貴世絵先生の「医食同源」 MARKET EXPRESS 118 116  
大人のエンタメ 書評 FROM EDITOR 123 122



Special Interview

# 人材派遣を始めて40年 動き始めた「働き方改革」 南部靖之

パソナグループ代表

**安倍首相が踏み込む  
同一賃金同一労働**

—— パソナの前身であるテンポラリーセンターが誕生して今年で40年です。この40年を振り返った感想は。

**南部** 一番うれしかったのは、安倍首相が今年の施政方針演説で働き方改革について触れ、「同一労働同一賃金の実現に踏み込む」と述べたことです。これこそ、僕が40年前に会社を立ち上げた時に錦の御旗として掲げたものだからです。

当時、女性は結婚や出産によって会社を辞めてしまうと、その後、働こうと思っても、パートかアルバイトしか選べなかった。せっかく高いスキルを持っているも、それを生かす場所がなかった。その悩みを解決するため、に立ち上げたのがパソナです。

特集

# AIが変える 仕事の現場 働き方 革命

これまで人間が行っていた仕事が、コンピューターや

人工知能（AI）に置き換わりつつある。

IBMのAIコンピューター「ワトソン」が

金融機関の窓口を導入され、

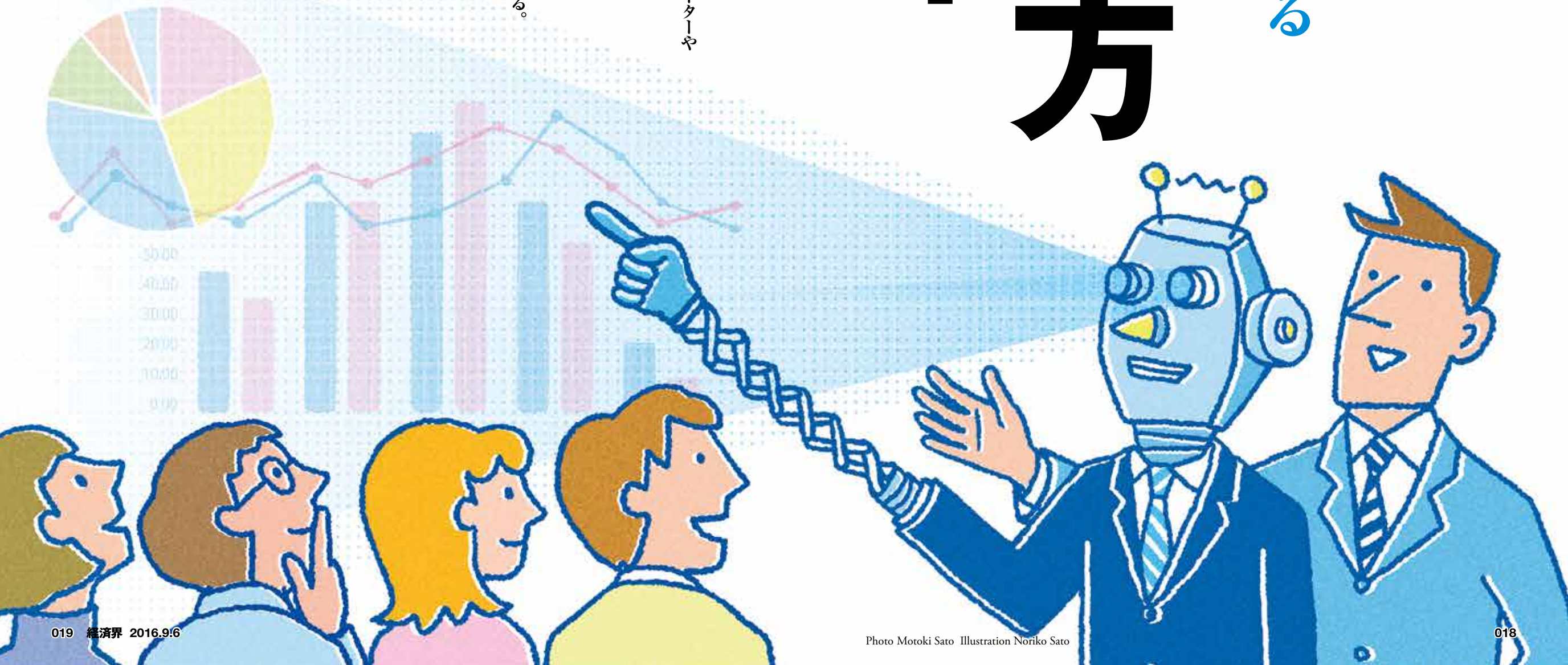
自動運転車の研究も世界中で進められている。

いろいろな企業でAIを自社のサービスに

組み入れようとして取り組みが進められている。

AIは仕事の現場をどう変えていくのか。

（本誌／榎本正義）



# 総論 第3次AIブームの 先にあるものは――



これまでAIの研究は「ブーム」と「冬の時代」の繰り返しがあった。1950年代後半から60年代の第1次ブームでは、迷路やパズルを解いたり、難しい定理を証明するAIが登場し、注目されたが、現実の課題には使えないと、ブームは冬の時代になった。80年代の第2次ブームでは、コンピュータに知識を入れ、さまざまなことに対応できるシステムはできたが、知識を記述・管理すること、膨大なデジタルデータを取り扱うことが難しかったため、95年ごろから再び冬の時代になった。現在の第3次AIブームの背景にあるのは、深層学習による機械学習の情報科学、ビッグデータの普及、高度な処理をリアルタイムに実現することができるようになった、ディープラーニングを用いたワトソンや将棋のプロジ

エクトなど印象的なプロジェクトの発足、AIの影響力や脅威の伝達など、いくつかの要因が重なっているといわれている。

AIは、人間が行ってきた単純で不毛な作業からの解放だけでなく、これまで人間のみが対応可能と思われていた作業、もしくはより高度な作業を人間の補完として実施することが可能だ。人間とは違い間違いを起こすことがなく、圧倒的なスピードで業務をこなす。人間は意図しなくても情報を記憶してしまいが、AIならその心配もなく、セキュリティ上の問題がないなど、特定分野では人間以上の力を発揮する。

AIには「4つのレベル」があるとされている。レベル1:単純な制御プログラム、レベル2:対応のパターンが非常に多いもの、レベル3:対応パターンを自動